

阪大分会 ニュース

No. 63 2010年6月17日発行

関西単一労働組合大阪大学分会
大阪市淀川区十三東 3-16-12 TEL06-6303-0449

あらゆる相談受付中!

正規・非常勤・派遣・委託など
一人でも入れる組合です

handaibun kai@yahoo.co.jp

非常勤職員に夏季一時金を支給せよ! 非常勤全員の雇用を保障せよ!



非常勤職員差別に満ちた春闘回答を許さない!

—抗議および団交要求書を提出—

「144万円でも生きていける。200万円以下でも十分だ」。これが我々の春闘要求を全面拒否した大学の認識である。非常勤職員差別にみちた傲慢極まりない大学を断じて受け入れることはできない。直ちに抗議および団交要求書を提出した。

大学は非常勤職員の年収は「地域相場（144万円）より高額だ」と居直ったが、144万円は大阪市の生活保護費と同額である（上限月額12万円、年額144万円）。阪大の最低賃金ランクC3は1,398,780円（08年4月現在、交通費を除く）で生活保護費以下なのだ。阪大は非常勤職員の9割を200万円以下におとしこめており、阪大版ワーキングプアの大量創出である。

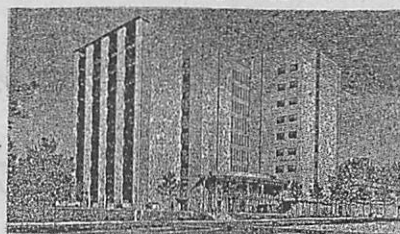
我々は組合結成以来、大学に対して非常勤職員の賃金・労働条件・権利について常勤職員との同一適用を要求してきた。しかし、大学は我々の要求に真面目に応えず、組合否認を続けている。これこそ、大学の非常勤職員差別のあらわれであって、我々は絶対に認めることはできない。

約54億円の黒字

—非常勤職員を安くこきつけた“もうけ”だ!—

大学は、吹田キャンパス中心部に産学連携の中核施設—大阪大学テクノアライアンス棟を建設中である。創立80周年記念事業として2011年4月開設をめざしており、9階建・総床面積約1万1千㎡で、大学主導の産学連携専用施設としては日本最大級と宣伝している。

では、この建設費用はどこから生み出されたのか。法人化後も、大学は徹底した人件費抑制政策をとり、新規採用非常勤職員には短期雇用制度導入と職務職能給の新給与制度導入による低賃金化を図った。さらに、法人化前から働く長期非常勤職員を5年後解雇せんとしている。大学は非常勤職員を安くこきつかい、搾取して「もうけ」を捻り出してきたのだ。



非常勤職員からしぼり取った資金で建設中の
大阪大学テクノアライアンス棟

非正規労働者の談話室

阪大の解雇攻撃に直面している非常勤職員の人達との相談会もっています。ひとりで悩まず、どんなことでも相談に来てください。いつでも都合のよい時間にお立ち寄りください。



□日時
6月24日(木) / 午後6時～9時
□場所
豊中市立千里公民館 第4講座室
(豊中市千里文化センターコラボ内)
《アクセス》
北大阪急行千里中央駅北改札より80m
モノレール千里中央駅より400m



